

7. 茨木市 奈良町 由来

奈良町から府道大阪中央環状線を挟んで反対側に位置する「奈良春日神社」。
元々は現在の府道大阪中央環状線が通る場所に社殿があったそうですが、昭和38年の中環建設に伴い社殿を移設。現在の場所に移ったようです。

創建年代不詳なるも、往昔当村住人三宅石雄の妻は藤原氏の出身にて子無きを憂え大和の国春日大明神に祈りて男子を出産。故に御神威を崇め大神を勧請し地名を奈良と呼び、安産の神として崇敬される。後、春日神社と称し全村崇敬の誠を捧げ奉れり。当時の神事祭等は大和の国奈良春日大社の神職三人来たりて行くと伝えられる。明治五年村社に列せられる。

簡単に説明すると、「昔、この村に住んでいた人が子供を授からないので、大和の国にある春日神社にお祈りしたところ、男子を出産。それを機に神社を勧請して地名を奈良と呼び、安産の神として崇敬。後に神社の名前を春日神社とした」。ということのようです。

「奈良」という地名はここから付けられたようです。

茨木市の道路を走っていると、突然

「奈良」の道路標識に驚きます。

大阪なのに「奈良」！？茨木市にある不思議な地名です。

茨木市には、「福井」と言う地名もあります。国道171号（西国街道）の北側、北摂山系の麓にあります。

福井の地名の由来は、福井神社（西福井の新屋坐天照御魂神社）にあります。

すなわち、福井神（さくいかあみ）＝井水の神（幸福と反映の井戸水の神）が祀られており、これが福井県の由来にもなっているのではないかとされています。

大阪府立「福井高校」があって、地元茨木市周辺以外の人なら、「えっ？大阪に福井高校？」とびっくりされると思います。

